

応急手当のポイント（けがをしているとき）

1 出血がひどい

- 基本は、傷口を清潔な布で強く押さえる
- 片手で圧迫しても止まらないときは、両手を使ったり、体重をかけて押さえる
- 感染防止のため、血液に触れないように、注意する

2 やけどをしている

- 水道水などの清潔な水で、衣類ごと冷やす
- 乳幼児は冷やしすぎないように注意する
- やけどしたところを布等で保護し、傷口の清潔を保つ

3 骨折をしている

- けがをしている部分に変形があったり、痛みや腫れが激しいときは、骨折している可能性がある
- 動かないように、当て木をする
- 身近なものを利用して固定する

